



『学芸大学駅周辺地区整備計画』 及び

『学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画』

“素案” がまとまりました。

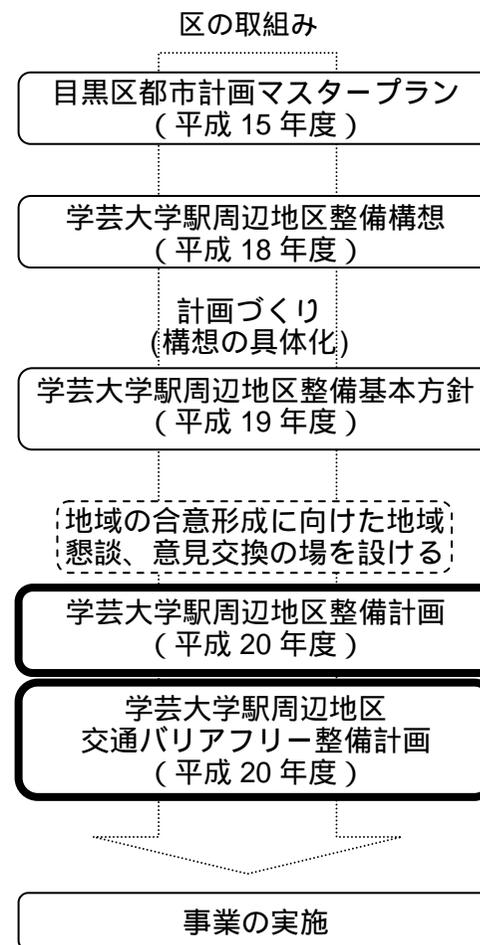
皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

「学芸大学駅周辺地区整備計画」(以下「地区整備計画」という。)は、「学芸大学駅周辺地区整備構想」(平成18年度策定)(以下「整備構想」という。)で掲げた地区の“目指す将来の姿”の実現を目指して作成した、総合的かつ具体的な地区整備の指針となる計画です。

また、「学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画」(以下「交通バリアフリー整備計画」という。)は、「地区整備計画」と連動して“高齢者や障害者等、誰もが安全に移動等ができる交通バリアフリーネットワークの形成”を目指す具体的な計画です。

これらの計画づくりにおいては、地元の皆さんの意見をお聞きするとともに、関係機関との協議を行いながら、今年度末の策定を目指して取り組んでいます。

策定後は、地元住民、関係機関・事業者等との連携や協力を図りながら、計画の実現に取り組んでいきます。



事業の実施に向けた具体的な検討

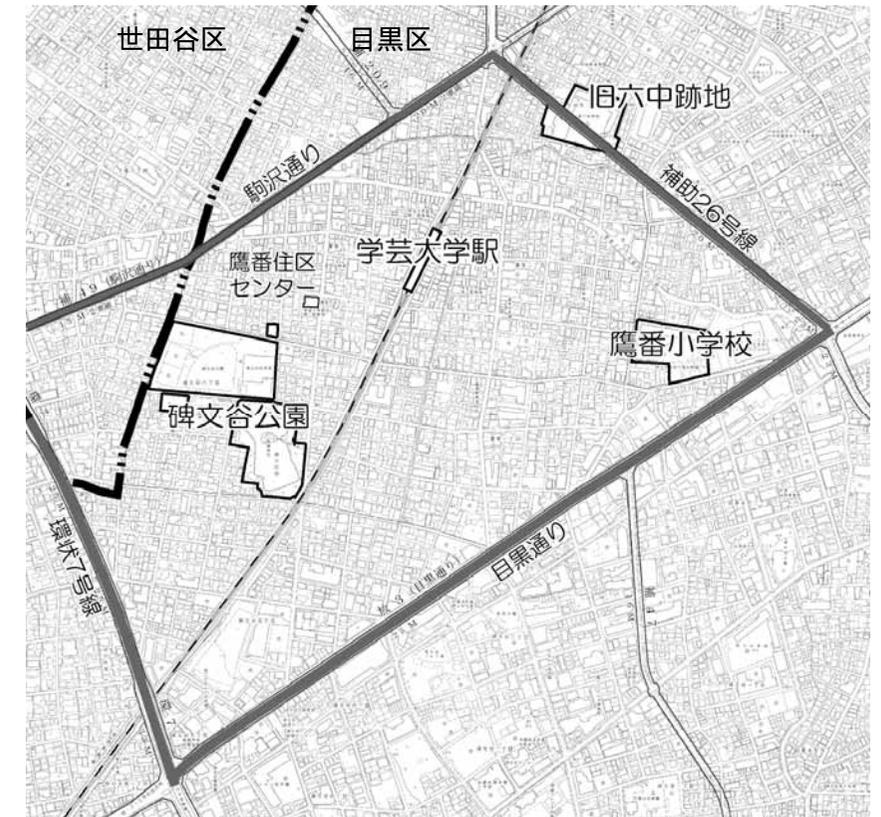
“学大街づくり通信”では、「地区整備計画」(素案)及び「交通バリアフリー整備計画」(素案)の概要についてお知らせします。

『学芸大学駅周辺地区整備計画』

【目指す将来の姿】

“にぎわう商店街、オアシス碑文谷公園、閑静な住宅地の広がり、生活を大切にする 安全・安心なまち”

【計画の期間】「学芸大学駅周辺地区整備構想」の目標年次である平成28年度(2016年度)までとします。



【地区の範囲】整備構想の範囲と同じとしています。

「学芸大学駅」及び「碑文谷公園」を中心とする幹線道路((環状七号線(25m)、目黒通り(25m)、駒沢通り(15~20m)、整備が予定されている補助26号線(20m))に囲まれ、一定の生活圏が形成される「居住環境区域」(居住環境区域とは、外周道路に取り囲まれ、地区内に無関係な通過交通を排除することが可能な区域)

素案の説明会を開催します
日時：平成21年1月15日(木) 午後7時~8時30分
平成21年1月16日(金) 午後7時~8時30分
会場：鷹番住区センター 第3・4会議室 / 参加希望者は、当日会場へお越しください。

素案の閲覧
閲覧場所：総合庁舎本館1階区政情報コーナー・6階都市整備課
地区サービス事務所(東部地区を除く)、鷹番住区センター、五本木住区センター
目黒区ホームページ：<http://www.city.meguro.tokyo.jp/> から
都市整備課の情報をご覧ください
閲覧期間：平成20年12月24日(水)~平成21年1月30日(金)

『学芸大学駅周辺地区整備計画』

網がけの部分は「交通バリアフリー整備計画」においても記載を行っています。

プラン1 駅・交流広場等の一体的整備

〔交流広場のあり方検討 / 駅・駅コンコース・広場のバリアフリー化 / 魅力的な景観形成 等〕

プラン2 駅周辺自転車対策

〔東急東横線高架下等の駐輪場整備 / 自転車利用ルール（押しチャリ）導入 / 総合的な放置自転車対策 / 自転車利用の抑制（徒歩へのシフト促進）等〕



プラン3 安全・安心・快適な歩行ネットワークの形成

〔交通安全施設の充実 / 主要な歩行者ルートのバリアフリー化の推進（交差点部の歩行者空間の明瞭化、放置自転車やはみ出し商品等の撤去、荷捌き車両対策等） / 「歩行者優先ゾーン」形成のための交通規制などの検討 / 安全でみどりの多い「みどりの散歩道」の形成 等〕

プラン4 碑文谷公園の魅力化

〔碑文谷体育館の耐震化 / 碑文谷体育館及び碑文谷公園のバリアフリー化 等〕

プラン5 小学校や住区センター、旧六中跡地の福祉機能等の向上

〔各施設のバリアフリー化、福祉機能の充実 等〕

プラン6 将来の補助26号線の整備を契機とした街づくり

〔将来の自動車交通の流れの検討 / 既存道路との交差点等の安全対策 / 道路整備と併せた街路樹の整備 / 環境やみどりに配慮した一体的街づくりの検討 等〕

プラン7 商店街の景観形成

〔電線類の地中化の実現化検討 / 路面デザイン等の検討 / 屋外広告物の配置等の検討 等〕

プラン8 住民が主体となって進めるまちづくり

〔地域ルールの検討とルールに基づく取組みなどによる良好な住環境の保全 / 地域ぐるみの防災対策 / 防犯対策の推進 / 「地域街づくり条例」を活用した組織化等への取組み 等〕

『学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画』

「地区整備計画」で示す“高齢者や障害者等、誰もが安全に移動等ができる交通バリアフリーネットワークの形成”に関する全体の整備の考え方に基づき、主に短期間（5年間）で一部の主要な事業（1～8）を進めます。

【凡例】

- 福祉のまちづくり推進地区
- 主要施設
- 主要経路

主要事業1
鉄道駅及び
鉄道高架下施設等の
バリアフリー化

主要事業2
碑文谷公園内施設の
バリアフリー化

主要事業3
鷹番小学校及び鷹番
住区センターなど、
主要な施設等のバ
リアフリー化



主要事業4
東西商店街等の
歩行環境等の改善

主要事業5
交差点部の
横断環境の改善

主要事業6
主要経路の
歩行空間の改善

主要事業7
放置自転車対策

主要事業8
バリアフリー対応
の案内施設の整備

具体的な取組みの実施においては、個別に関係者（当事者となる高齢者や障害者等）や地元の皆さんの意見をお聞きするとともに、関係機関との協議を行いながら進めていくことを基本としています。

ご意見 提出方法

「学芸大学駅周辺地区整備計画の素案」または、「学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画の素案」と明記し、住所、氏名または団体名（ふりがな。匿名も可）をご記入の上、郵送、FAX、Eメールにて都市整備課までお寄せください。

郵送先：〒153-8573 東京都目黒区上目黒2丁目19番15号
目黒区都市整備部都市整備課

FAX：03-5722-9239

メール：r-gakudai@city.meguro.tokyo.jp

締め切り：平成21年1月30日（金）必着

なお、頂いたご意見は、個別の回答はいたしません。各計画検討の参考にさせていただきます。

お問い合わせ先：目黒区都市整備部都市整備課街づくり調整係 電話 5722-9714